

事業所名

一般社団法人 おおすみ笑顔のわ
えすぺらんさBase

支援プログラム（放課後デイ等サービス）

作成日

R7

年

4月

1日

法人（事業所）理念		Fact smile as life ～ほんとうの笑顔がある人生を送るために～ 障がいがあっても子どもとその家族が住み慣れた大隅の地で安心して笑顔で生活を継続していくために貢献します								
支援方針		①遊ぶ！楽しむ！（子供たちのやりたい、遊びたい気持ちを大切に育みます。） ②挑戦（できない事を考えるのではなく、どうやったらできるかを考えて、新たな可能性にチャレンジします。） ③専門的支援（医療的ケアを受けながらも、様々な体験や活動に参加できるように支援します。） ④介護負担軽減（日々の介護疲れを軽減し、在宅で少しでもゆっくり過ごしてもらえるように支援します。） ⑤希望のわ！（ご家族、地域社会との繋がりを大切にして、子供たちやご家族が希望を持って安心して過ごせるような場所づくり、地域づくりに貢献します。）								
営業時間			8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	学校送迎 あり
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	医療的ケアを受けながら、野外活動や行事、季節に合わせた活動などに参加できるように関わっていきます。家庭、学校などの関係機関と情報共有を行って、体調の変化に注意しながら安心、安全に過ごすことができるように支援します。日常生活において一人一人のできることを把握しながら、自分でできるようにサポートしていきます。								
	運動・感覚	運動遊びや音楽遊びなどを通して、やりたい気持ちを大事にしながら自主的な動作をサポートします。五感やそれ以外の感覚を使った活動や遊び（クッキング、水、砂、粘土など）を計画し、楽しめるように一人一人に応じた関わり方を考えていきます。一人一人に合わせた運動を繰り返しおこなって、姿勢保持や、動作の改善・習得、関節の拘縮や変形予防、筋力の維持・強化を図ります。								
	認知・行動	製作や音楽などの活動に参加して手順を覚えたり、模倣することで、理解ができ行動に移せるように接していきます。身の回りのことなどたくさんの経験を積むことによって手順を理解し、自分でできるように見守っていきます。周囲の状況が理解でき、自分から行動に移せるように関わり、「できた」ことを共有して自信に繋げていきます。								
	言語 コミュニケーション	言葉やジェスチャー、手話、表情などで自分の気持ちを伝えた時に、気持ちを汲み取って他の人に代弁する、すぐに対応するなど、お友達やスタッフなどとのコミュニケーションが図れるように関わっていきます。								
	人間関係 社会性	お友達やスタッフとの人間関係が良い方向に保てるように、ルールを守ったり、お互いに譲り合ったり、自分の気持ちの表現ができるように関わっていきます。自主性を尊重し、自信を持って行動できるように支援します。								
家族支援		本人の意思が理解しやすいように、活動と一緒に介入し指導、助言を行います。個人の相談や保護者同士の交流を通して多様な意思表出への理解を深め、関わりの選択肢を広げます。					移行支援		必要に応じて学校、事業所などと本人の関わり方としての共有を図ります。安心して就学、進学、事業所利用ができるような環境を作るとともに、不安の軽減を図ります。	
地域支援・地域連携		地域の方との交流を行うため、学童クラブなどの訪問やお祭りなどのイベント参加を考えていきます。 外出をたくさん行なって、地域の方々に個々の特性を理解してもらいます。					職員の質の向上		月に1回職員研修（権利擁護、虐待防止を含む）の実施。救急救命訓練、避難訓練、防災訓練の実施。専門性を深めるための研修参加後、職員への周知の実施。インシデント事例の話し合いや利用者の情報交換、療育の振り返りは、その都度職員間で共有しています。年2回自己評価および面談を行い、職員の室の向上を図っています。	
主な行事等		季節に合わせた活動（節分、ひな祭り、バレンタイン、父の日製作、母の日製作、敬老の日製作、水遊び、芋ほり、ハロウィン、海遊び、運動会、クリスマス会など） 親子クッキング、親子遠足、海遊び、運動会、餅つき、大きくなったお祝い会、保護者会								